

食品関連業(製造、流通、販売など) (ISO9001, ISO14001)

1. 業務特性

食品関連業といっても、製造・流通・販売など様々な形態があるが、消費者の口に入るものを扱うと言う意味では、いずれにおいても厳しい管理が要求される。例えば、製造における原材料の選定・管理や加工工程管理、流通・販売における保管時の品質管理などは特に重要である。

2. 導入のポイント

1) ISO9001

食品製造業を例にとると、その役割は「安全で質の高い製品の提供」であろう。ISO9001により安全(品質)を確保しようとした場合、以下のような流れとなる。

- ①安全(品質管理)上の重要な管理ポイントを見極める。
- ②管理手法を確立し、徹底する。
- ③管理手法に問題点が無いかを継続的に見直す。

「今まで問題が起きていないから大丈夫」という考え方ではなく、潜在的なリスクを考慮することが企業の信頼性向上には不可欠であろう。

また、品質管理というと“安全”の部分に注力しがちだが、“おいしさ”や顧客重視・顧客満足の視点で考えた“品質の向上”も、システム構築のうえで重視すべきポイントである。

2) ISO14001

食品製造業を例にとると、環境に与える影響としては、例えば以下のようなものが考えられる。

- ①原材料等の資源利用
- ②電気や燃料等のエネルギー使用
- ③製造過程で発生する廃棄物
- ④製造に伴う騒音・振動・悪臭
- ⑤製造過程で発生する排ガスや汚水など

また、人体への影響という観点から考えると「食品添加物の削減」なども環境上の取組みとして考慮できるかもしれない。

業種別 マネジメントシステム導入ポイント

3. 導入効果の具体例

1) ISO9001の場合

改善ポイント	業務上の効果
安全・安心	
おいしさ	
業務効率・生産性	
商品開発・品揃え	
仕入れ・購買	
サービス	

2) ISO14001の場合

改善ポイント	環境上の効果	業務上の効果
<p>【食品製造業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物削減という観点から加工方法を見直し、材料ロスの削減を図る。 ・工場廃水の環境への負荷を低減する観点から、排水方法も見直しを図る。 ・人体影響のリスクを減らすという観点から、添加物の見直しを図る。 	<p>材料ロスが減り、廃棄物の減量化が図れる。</p> <p>廃水の環境負荷を低減。廃水の再利用、リサイクルによる資源の節約。</p> <p>人体影響のリスクが緩和される。</p>	<p>材料ロスを減らすことにより、コスト削減につながる。</p> <p>廃水の再利用により、再資源化(原料化)、新商品開発。</p> <p>食品の安全性という面でアピールが可能となる。また、企業としてイメージアップにつながる。</p>